

白鶴酒造の酒蔵屋上で太陽光発電スタート
四季醸造の酒造りに自然エネルギー取り入れへ
380枚超の太陽光パネルを設置し、酒造りと環境にやさしい
自然環境と調和した事業を目指す

白鶴酒造株式会社は、2021年9月27日（月）から、自社最大規模の酒蔵「本店三号工場」（※1）の屋上に381枚の太陽光パネルを設置し、太陽光発電を開始します。年間発電量は一般家庭約30世帯分の約132,900kwhを見込みます。

当社では、SDGsの取り組みの一環として、2012年7月に竣工したボトリング工場（灘魚崎工場 ※2）では、高効率な設備を導入し、2015年には屋上で太陽光発電を開始するなど、環境にやさしい工場を実現しています。これに引き続き、酒造りにも環境にやさしい自然エネルギーを利用し、自然環境と調和した事業を目指します。



■ 本店三号工場	太陽光発電
設置場所	本店三号工場 4階、5階屋上部分（約1300㎡）
最大出力量	99kw
年間発電量	132,900kwh（一般家庭約30世帯分 ※3）
パネル枚数	381枚

※1 本店三号工場

1年をとおして酒造りを行う四季醸造工場で、「まる」、「上撰 白鶴」、「上撰 白鶴 生貯蔵酒」、「特撰 特別純米酒 山田錦」など、自社の約4割の酒を生産しています。

※2 灘魚崎工場

灘魚崎工場の屋上には1,176枚の太陽光パネルを設置し、年間約315,000kWhの発電を行っています。【右写真】

※3 一般家庭の年間消費電力量

4,322kWh（環境省2017年データより）



< 灘魚崎工場屋上の太陽光パネル >

■白鶴酒造のSDGsへの取り組み

事業活動を通じてSDGs達成に貢献するため、白鶴酒造では、下記の目標の実現を目指しています。

<https://www.hakutsuru.co.jp/corporate/csr/society.html>



目標2：
飢餓をゼロに
農家の高齢化問題や耕作放棄地対策も兼ねた白鶴ファームの活動



目標3：
すべての人に健康と福祉を
適正飲酒の啓発



目標4：
質の高い教育をみんなに
出張講義
教育助成活動の一環としてベルマーク運動に協賛



目標5：
ジェンダー平等を実現しよう
女性の活躍推進



目標6：
安全な水
灘五郷酒造組合での水質保全活動



目標7：
エネルギーをみんなに
バイオマスガス、ヒートポンプ、ソーラー発電の導入
「地エネと環境の地域デザイン協議会」への参画



目標8：
働きがいも経済成長も
働き方改革、障がい者雇用促進



目標12：
持続可能な生産消費形態
3Rを意識した製品設計



目標14：
海の豊かさを守る
漁業支援「笑顔でつなごう！みんなのまるキャンペン」



目標15：
陸の豊かさも守ろう
NPO法人「しみん基金・KOBÉ」を通して六甲山保全活動を行う団体へイベント収益金を寄付
サステナブルな食と環境作りに取り組むNPO法人Peace & Natureの活動支援

【一般のお客様からのお問い合わせ先】

白鶴酒造株式会社 お客様相談室

〒658-0041 神戸市東灘区住吉南町4丁目5番5号

TEL：078-856-7190（休祝日を除く月～金 9:00～17:00）

白鶴ホームページ：<http://www.hakutsuru.co.jp/customer/>

白鶴酒造株式会社 〒658-0041 神戸市東灘区住吉南町4丁目5番5号

担当 総務人事部 広報室 植田・大岡

TEL：078-822-8901 FAX：078-822-1456 e-mail：koho@hakutsuru.co.jp